議会を観ての生の声

12月定例会の傍聴者数のべ48人、ライブ配信再生回数483回　録画配信再生回数287回(1/23時点)

新たな防災士の育成に期待しています

防災士連絡協議会副会長
益田　和人さん

議会で防災士育成に関する質問が出るということで傍聴に行きました。
平成24年7月の九州北部豪雨では、大津町でも甚大な被害が出ました。
当時、町区の区長を勤めていた私は防災減災の取り組みの重要性を感じ、防災士の資格を取るとともに、地元地域で防災組織を立ち上げたのが最初の取り組みでした。
普段から区と役場とが一体となった防災組織を目指してきました。
その後、町でも防災士育成や、防災士連絡協議会が結成され、副会長として防災意識の向上のために貢献させていただいております。
熊本地震では、地域で被災者支援に取り組みました。
最近では、多くの防災組織も整備され町民の防災知識もついてきたと感じています。
しかし、新型コロナ感染症の影響での分散避難であったり、若い人たちはインターネットやスマホの普及により防災情報が多様化するなど、防災活動の取り組み方が大きく変わってきており、新しい防災士を育成した方が良いと思っていました。
そのような中、町が新たな防災士の育成を行うということで期待をしています。

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイディア」があればお寄せください。

魅力ある公園づくりと活性化を

太田　博文さん
(合志市)

私は、今まで熊本市議会などは傍聴したことがありましたが、大津町議会を傍聴するのは初めてでした。
地域の活性化を図る公園の整備計画についての質問を主に傍聴したのですが、モニターに資料を投影しながら分かりやすく説明されていたので、内容をよく理解することができました。実際に傍聴してみると、白熱した雰囲気の中で大津町を良くしたいという熱意が伝わりとても貴重な体験でした。
私は熊本県スケートボード協会で活動をしていますが、やはり公園などの身近な問題には関心があります。若い地元の議員の方が若者たちの声を踏まえて質問してくれているということを感じ、若い世代も議会にもっと大きく関心を持つべきだと思いました。